

賑わいのある海辺の創出へ

民間活力の導入により、稲毛海浜公園施設がリニューアルされ、バーベキュー場とグランピング施設が利用開始となりました。バーベキュー用の器材や千葉県産の食材などを用意、食材の持ち込みも可能、グランピング施設は手ぶらでキャンプを楽しめます。

トピックス

「Small Planet CAMP&GRILL」が開業!

- 施設概要
- ▶ **バーベキューエリア** (約3,100㎡)
芝生の上のバーベキューエリア
 - ▶ **フォレストバーベキューエリア** (約4,600㎡)
木々に囲まれたプライベート空間で、少し贅沢なバーベキューエリア
 - ▶ **宿泊エリア**
ウッドデッキの上に設置したテントで、手ぶらにキャンプができるエリア
テント式のサウナ有り
 - ▶ 詳細はホームページをご覧ください。
<https://sunsetbeachpark.jp/smallplanet/>



所属する委員会の紹介

常任委員会

総務委員会  桜井秀夫	保健消防委員会  酒井伸二	環境経済委員会  森山和博	環境経済委員会  近藤千鶴子	環境経済委員会  青山雅紀	教育未来委員会  村尾伊左夫	都市建設委員会  川岸俊洋	都市建設委員会  伊藤康平 (委員長)
--	---	---	--	---	---	---	--

議会運営委員会：近藤千鶴子(副委員長)・桜井秀夫

特別委員会

大都市制度・基本計画・市制100周年調査特別委員会：川岸俊洋・桜井秀夫

超高齢社会調査特別委員会：村尾伊左夫(委員長)・伊藤康平

尚、公明党市議団から千葉市議会・副議長に森山和博議員が選出されました。

市政に関するご意見やご要望をお寄せください!

年齢・お住まいについて(該当するものに✓をおつけください。)

- ▶ お住い 中央区 花見川区 稲毛区 若葉区 緑区 美浜区
 ▶ 年齢 20歳未満 20~39歳 40~59歳 60~74歳 75歳以上

お寄せいただいたご意見・ご要望については、政策提案等に役立ててまいります。 **FAX.043-245-5584**

公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 <https://chibakomei.com/>

公明党千葉市議会議員団

市議会だより

発行日/令和3年7月 発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

2021
夏号

防災・減災対策の強化に向け、気象情報の活用を!

株式会社ウェザーニューズ社
を視察しました。

民間気象情報会社・株式会社ウェザーニューズが、本市美浜区に本社を置くことから、本市との提携で種々の取り組みが進められています。そこで、これまでの取り組み状況を確認するとともに、地域の気象情報の活用で防災・減災対策を強化すべきと要望し、一層の連携と気象庁や気象防災アドバイザーなどの専門家の活用を図るべきと市長の見解を伺いました。

市長からは「本市が所有する過去の建物浸水や道路冠水のデータを活用し『ICT防災マップ』をインターネット上で公開することなどで連携してきました。また、市主催の防災講座での講和や、防災教育の分野でもご協力をいただいています。

今後もより一層の連携を図り、災害時に気象の専門的な知見による的確な助言を得て、建設中の新庁舎の危機管理センター内に、関係機関調整室を設ける等、準備していく」旨の答弁がありました。



新型コロナウイルス・ワクチン集団接種会場を確認! 希望する市民へ混乱なくワクチン接種を

中央コミュニティセンター
を視察しました。

千葉市集団接種会場の中央コミュニティセンターを確認しました。夏場の気温上昇を考慮され、換気と空調が可能な6階フロアと各諸室に会場が移設されました。

受付の「検温・手指消毒」から「接種後の観察」までの諸室を一方通行で進むことで、ワクチン接種がスムーズに実施されていました。

引き続き、現場を確認し、希望する市民に対しワクチン接種事業が、より安全に速やかに展開することを求めてまいります。



2021
6月議会

公明党市議団の代表質疑

生涯現役社会の構築に向けて 千葉市シルバー人材センターの改革で、元気な高齢者が活躍するまちへ



シルバー人材センターについては、これまでも高齢者のニーズに対応した運営や、会員に提供する事務系の仕事の開拓、さらには女性会員の拡大など、新たな事業の必要性等について指摘してきました。

また、生涯現役社会の構築に向けて、一層の高齢者の活躍を促進するため千葉市シルバー人材センターの改革を要望し、市長の見解を伺いました。

市長からは「国において高齢者雇用安定法が改正され、本年4月より事業主に70歳までの就業を確保する努力義務が課せられたこともあり、引き続き、会員のニーズを把握した就労の開拓およびマッチングに努め、また、新たな事業としては、介護保険サー

ビスの1つである『生活援助型訪問サービス事業所』を今年度中に開設できるよう準備を進める」旨の答弁がありました。

児童虐待防止対策の強化を！ 年々増加している虐待への対応について

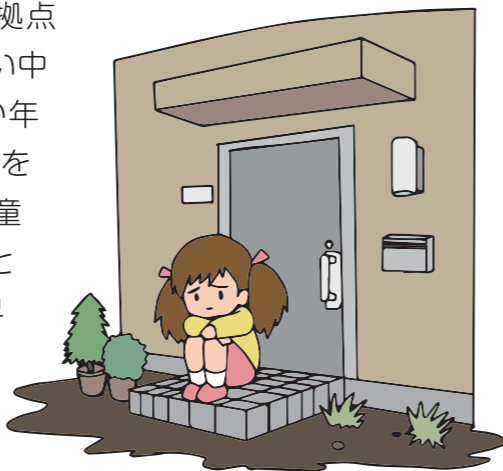


虐待の発生予防、早期発見のためにも、地域における相談窓口や調査・継続支援を行う総合拠点となる「子ども家庭総合支援拠点」の設置を求めるとともに、虐待対応件数が過去最多を更新する中、児童相談所の分所、支所の提案をしてきましたが、これからの児童相談所のあり方について伺いました。

市長からは「虐待対応体制や虐待の発生予防の強化が喫緊の課題と認識しており、そのため、子ども家庭総合支援拠点については、虐待相談対応件数が最も多い中央区に令和4年度に先行設置し、以降3か年で全市展開を図るとともに、専門職の人員を

配置し、児童相談所等との情報連携を強化してまいります。また、児童相談所については、来年4月を目途として現施設にて2所体制とすることとし、2所間での業務分担や組織体制の調整を図りつつ、可能な限り早期に児童相談所の増設を実現してまいります」との答弁がありました。

引き続き、養護が必要な子ども達への施策の充実に取り組んでまいります。



医療施策の推進を！ がん対策の取り組み強化について

コロナ禍におけるがん検診の受診控えは、現在の重要な課題であるとともに、若い世代のがん患者への支援等、本市のがん対策の課題を踏まえ、独自のがん対策推進条例等を制定すべきと要望しました。

市長からは「コロナ禍により節目検診など、次回の検診まで、間が空くものについては、今年度も受診対象とすること。また、本市独自の支援として、新たに療養生活の質の向上および経済的負担の軽減を図るため、がん患者を対象とした医療用ウイッグの購入および若年がん患者を対象とした在宅療養に係る費用への助成を図ります。また、本市独自の条例については今後の検討課題の1つと認識している」との答弁がありました。

今議会の補正予算で決定した事業内容 事業開始日：令和3年9月1日

事業名	医療用ウイッグ購入費用助成	若年がん患者在宅療養生活支援
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 千葉市民 がんと診断され、抗がん剤治療等の副作用による脱毛症状に対処するためにウイッグを購入した方 	<ul style="list-style-type: none"> 40歳未満の千葉市民 医師が医学的知見に基づき判断したがん患者 在宅療養を行う方
助成内容	<ul style="list-style-type: none"> 購入費用の1/2を助成 上限3万円（1人につき1回限り） 	<ul style="list-style-type: none"> 1か月あたりの在宅介護サービス利用料に対し、9/10を助成 上限5万4千円/月

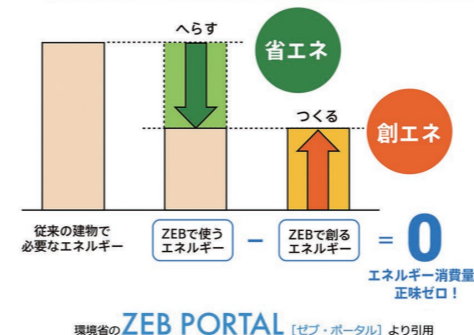


脱炭素社会構築に向けた取り組みを推進！ 市内のネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB・ゼブ）を視察

千葉市の脱炭素社会の構築に向けた取り組みについて市長の見解を伺いました。

市長からは「脱炭素社会の構築に向けては、市が率先して施設で使用する電力の再エネ比率を高めるべきと考えている。例えば、千葉氏ゆかりの自治体や県内自治体などとの連携も含め電力の調達方法などについて検討を進めていく」との答弁がありました。

また、脱炭素社会構築に向けた先進的な取り組み



として、市内のネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB・ゼブ）の先駆けとなる日本電設工業株式会社ビル（平成31年度環境省ZEB建築物実証事業）を視察いたしました。

ビルのエネルギー消費量をゼロにするため、ビル全体の大幅な省エネと再生可能エネルギーの導入でさらにエネルギー消費量を低減する取り組みについて伺うことができました。

2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルの脱炭素社会の実現を目指し取り組みを加速してまいります。

